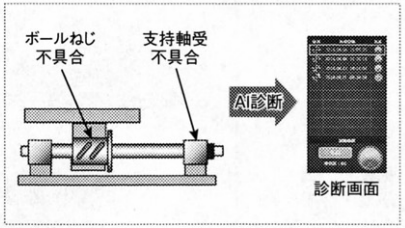
# 総合

## 工作機械の保全システムを強化
### 送り軸の状態を容易に診断
オークマ

オークマはこのほど、工作機械の保全支援「メンテナンスsuite」を開発、出荷を開始した。

制御装置とメンテナンスモニターに予防保全機能を装備し、保全活動を支援する。同社がこれまで加工現場で得た機械保全の経験や、機械稼働率向上の取組みをもとに、工作機械の生産性向上と安定稼働を実現するための保全活動を支援する。

制御装置には、機械停止を未然に防ぐ予防保全機能として「OSP-AI故障診断機能」を新たに搭載した。ボールねじや支持軸受など、送り軸の状態をAI（人工知能）で自己診断し、異常を検知する（図）。制御装置のボタンを押すだけで操作画面上に診断結果を表示できる。




また、メンテナンスモニターでは同社が推奨する工作機械のメンテナンス項目と、顧客が任意に設定可能な項目とを一元管理できる。メンテナンス項目を見える化し、メンテナンス時期や内容、実施履歴などを表示することで確実な予防保全が可能になる。

このほか、加工完了やアラーム停止時にメールを発信し通知する機能や機械状態をスマートフォンやPCで確認できる機能も備え、迅速な対応を可能にした。

## 厚生労働省から表彰
### 生産力と雇用改善を両立
大豊工業

大豊工業は先ごろ、厚生労働省が主催する「第一回 働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」の大企業部門・職業安定局長賞（優秀賞）を受賞した。

同賞は、労働生産性の向上と雇用確保・雇用環境の改善を両立させる企業・職場を表彰し、取組み事例の収集や、啓発・普及を行う制度。

同社が「燃える職場・社員総活躍プロジェクト」と称した人財力向上活動を進めた点が評価された。

同プロジェクトでは、従業員の仕事に対するやりがいや意欲の向上と、能力の向上を目的に、問題解決力の向上を図る教育プログラムなどが実施された。同社は、今後もグループ全体で活動を推進する考えだ。

## Webサイトを一新
日本精工

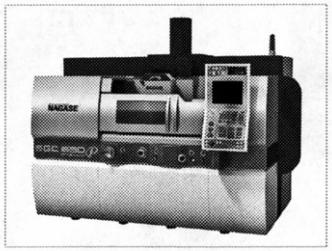
日本精工は先ごろ、Webサイトのデザインを一新したと発表した（写真）。あわせて、トップページのURLを変更した（www.nsk.com/jp）。

新しいWebサイトでは目的の項目にアクセスしやすくするために、製品や企業情報などの項目をわかりやすく画像で表示するなど、デザインを変更した。また、トップページの上部に検索ボックスを設け、目的の情報を探しやすくした。

このほか、子会社の日本精工九州（www.nsk.com/n9）と、NSKマシナリー（www.nsk.com/nmc）も、URLを変更した。

## 優秀新技術・新製品賞を発表
### 平面研削盤など受賞
りそな中小企業振興財団

りそな中小企業振興財団は先ごろ、「第29回 中小企業優秀新技術・新製品賞」を発表した（共催：日刊工業新聞社）。同賞は中小企業の技術の振興を図り、日本の産業の発展に寄与することを目的として、毎年1回優秀な新技術・新製品を表彰するもの。「一般部門」、「ソフトウエア部門」の2部門で、中小企業庁長官賞、優秀賞、優良賞、奨励賞の各賞を贈賞し、副賞として最高100万円を贈呈している。



本紙関連では、ナガセインテグレックスの「SGC-630PREMIUM」（写真）が中小企業庁長官賞を受賞した。同機は、10ナノメートル単位での分解能を持つ精密成形平面研削盤。真直運動の精度と加工点の剛性を両立した。独自の多面拘束非接触油静圧案内をすべての軸に採用し、リニアモーター駆動と組み合わせることで、従来の研削盤以上の鏡面・平面加工や形状創成加工を実現したほか、IoT（もののインターネット）へ対応したことなどが評価された。

このほか、MSTコーポレーションの「ワークホルダシステム スマートグリップ」などが、優秀賞を受賞した。

## 6月に研究会を開催
### 鏡面仕上げ技術がテーマ
砥粒加工学会

砥粒加工学会 次世代固定砥粒加工プロセス専門委員会は6月9日、研究会「パワートレイン部品の表面仕上げ加工における最新技術動向」を開催する。パワートレイン部品で要求される表面仕上げ加工技術の最新動向について、以下のとおり講演が行われる。

▽「動弁カムの弾性変形接触を考慮した加工形状制御によるフリクション低減」馬渕豊（日産自動車）▽「軸受部の超仕上げで省エネルギーに貢献するパワーフィニッシャ」川端光弘（不二越）▽「パワートレイン部品に精密加工を施すトライザクト研磨材」富樫陽子（スリーエムジャパン）▽「固定砥粒によるパワートレイン部品のストンラッピング加工」堀捷樹（西部自動機器）

問合せは事務局の田附まで（☎048-829-7046）。

次世代の産業を
MOTION & CONTROL™ NSK

NSK製品のことなら
MOTION & CONTROL™ NSK